



課長級・係長級・主任級・係員級の職員用

DX推進サブリーダー 養成講座受講者募集！

応募〆切
7/11(金)

こんな人は
ぜひ応募を！

- ・将来的に本市のDXをリードできる人材になりたい
- ・デジタルスキルのリスキリングに興味がある
- ・現にデジタル化・DXの進め方に困ったことがある

01. 「DX人材育成プログラム」とは？

- 本市では、発展著しいデジタル時代に対応できる「DX人材」育成のため、令和7年度から令和11年度までの5年間に実施する研修内容等を定めた「[京都市DX人材育成プログラム2025-2029](#)」を策定しました。
- このプログラムでは、市長部局等全体の常勤職員を対象とした「全庁的なデジタル力の向上」に加え、**率先してDXを推進できる人材**として、**DX推進サブリーダー**、**DX推進リーダー**を重点的に育成する**養成講座**を毎年度実施します。

02. DX推進サブリーダーに認定されるとどうなるの？

- **DX推進サブリーダー養成講座**では次の「DXスキル」の習得を目指します。
 - ① DXを自ら率先して進めるために必要なマインド・リテラシー
 - ② デジタルを活用した業務変革を自ら進めるための実践力
 - ③ 個別のデジタルツールの基礎的な活用力

＊ DXスキルの詳細は「[京都市DX人材育成プログラム2025-2029](#)」を参照
- 本養成講座修了者は、**DX推進サブリーダーに認定**されます。

目指す人物像：DX推進の基盤となる人材

 - ① DXへの意欲を有し必要なDXスキルを習得
 - ② 身近な業務のDX推進を率先
 - ③ 周囲の職員のDX推進のサポート役
- **DX推進サブリーダー**認定者は、次年度以降、以下のとおり活動します。
 - ① 養成講座で得たDXスキル等を生かし、日々の業務の中で、上記人物像に沿った職員として主体的に職務遂行
 - ② 継続研修の毎年受講（約3時間/年のe-ラーニング等）
 - ③ DXラボ+活動への参画（任意） ＊DXラボ+については次頁参照

DXラボ+

- ◆ DX推進サブリーダー・リーダーが相互に情報共有、自己研鑽等の活動を行う交流プラットフォーム。Teams上でテーマ毎にグループ等を形成して活動。
- ◆ 現行の「DXラボ」での活動を発展させ、自主的なスキルアップに加え、庁内のお困りごと解決、情報発信、職員向けセミナー開催、DXに関するアドバイス等の取組を想定。

03. DX推進サブリーダー養成講座の概要

- **対象者** 一 市長部局等の課長級以下の常勤職員で、
以下のいずれかの該当者から選考で年100名程度まで
 - ① **DX推進サブリーダー**となることを希望する者
 - ② デジタル化戦略推進室又は各局区等の長が推薦する者
- **養成講座の受講時間数**
e-ラーニング約20時間 + 集合研修 1 日

04. 研修科目

- 今年度の本養成講座の研修科目は以下のとおりです。
e-ラーニングの受講方法、集合研修の日程の割り当ては、受講希望者募集後、受講決定通知に添えて改めて通知します。

R7研修科目	実施方法
動機付け動画（仮称）	e-ラーニング （約20時間） ※時間数は、早送り機能等を使用せずに閲覧した場合の目安
DXがわかるコース	
ITがわかるコース	
DX時代の必須知識！社会人のための情報リテラシー	
事例で学ぶ！DX成功事例	
これだけは知っておきたいDX関連の法令	
これだけは知っておきたいクラウドの基礎	
これだけは知っておきたいIoTの基礎	
これだけは知っておきたいAIの基礎	
これだけは知っておきたいデータ分析基礎	
これだけは知っておきたい業務改善の基礎	
業務フロー作成と要求定義の基礎	
DX時代の課題解決！デザイン思考入門 理解編	
DX人材を目指すためにお勧めの資格	

次頁に続く

R7研修科目	実施方法
UXデザインの基礎	e-ラーニング (約20時間)
データ・AIの戦略的活用	
Teams基礎編	
生成AIを活用したDX	※時間数は、早送り機能等を使用せずに閲覧した場合の目安
ローコードツール基礎編	
RPAツール基礎編	
オンライン申請ツール基礎編	
DX業務改善研修	集合研修（1日間） ※10/30、11/10、12/5のいずれか1日

- 受講者は、**DXアソシエイト**向け研修の全部の受講義務を免除します。
＊ DXマネージャー向け研修は免除されません。

04. スケジュール

7/11

受講希望者応募×切 ＊ 応募方法は下記05参照

7/下旬

受講決定通知 ＊ 局区等労務担当を通じて通知します。

8/1～

e-ラーニング受講開始

10/30

11/10

12/5

集合研修実施（いずれか1日）

2/27

e-ラーニング受講期限

＊ 一部、集合研修までに受講が必要な科目があります。

3/下旬

DX推進サブリーダー認定 ＊ 認定証を交付します

05. 応募方法

7 / 11
応募×切！

受講について予め所属長等に了解を得たうえで、
応募×切（7月11日（金））までに以下のWebフォームから応募してください。



応募フォーム

※上記フォームに入ろうとする際に
Microsoftのアカウントログインを求められた場合は、ご自身の庁外メールアドレスを入力してログインしてください。

- ＊ デジタル化推進担当のイントラページからもフォームにアクセスできます。
- ＊ 希望者が受講上限（100名）を上回った場合、人事課において選考を行います。
- ＊ 本フォームへの応募をもって受講が確定するのではなく、
後日（7月下旬頃）別途通知する受講決定通知をもって受講が確定します。

06. Q&A

Q 全ての科目を年度末までに受講できなかった場合はどうなるのか。

A **DX推進サブリーダー**として認定することはできません。

ただし、次年度以降改めて養成講座を受講する場合、未受講の科目を受講すれば認定を受けることができます。

なお、**DX推進サブリーダー**に認定されなかった場合、次年度のDXアソシエイト研修の受講は免除されませんので、ご注意ください。

Q e-ラーニングは一気にすべての科目を受講しなければならないのか。

A 本研修に係るe-ラーニングは、5～10分程度の單元ごとに細かく切り分けて閲覧できます。業務の隙間時間を活用して少しずつ受講することが可能です。

Q 在宅勤務中の受講は可能か。

A 可能です。「在宅勤務計画書兼実績報告書」に本研修受講の旨を記載のうえ、所属長に提出してから受講してください。

Q 今年度**DX推進サブリーダー**に認定され、来年度以降**DX推進リーダー**養成講座に申し込む場合、受講科目の免除はあるのか。

A その場合、**DX推進サブリーダー**養成講座で受講済のe-ラーニング科目は免除されます。

Q **DX推進サブリーダー**認定後、認定が解除されることはあるのか。

A 合理的な理由なく、2年連続でDX推進サブリーダー継続研修を受講しなかった場合等に認定が解除されます。（詳細はDX人材育成プログラムのp16を参照）

Q DXラボ+の活動への参画は必須なのか。

A DXラボ+の活動は任意です。

DX推進サブリーダーの主たる役割は「自身や周囲の業務のDX推進に貢献すること」であり、DXラボ+での活動は、そのためのスキルアップ、情報交換等の一助とするためのプラットフォームですので、必ず参画しなければならないというものではありません。

お問い合わせ先

- 養成講座の受講に係る服務、集合研修当日の出欠に関すること
受講希望者の選考に関すること

行財政局人事部人事課 木村(祥)・木村(俊) 222-3050

- 具体的な研修内容、その他上記以外の事項に関すること

総合企画局デジタル化戦略推進室 原・橋本 222-3376